



THE SERVICE CLUB OF THE YMCA
 AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S
The Y's Men's Club of Kanazawa
 CHARTERED JULY 9, 1947
 c/o KANAZAWA YMCA 44-1-202 SATOMI-CHO KANAZAWA 920-0998

国際会長主題	「とにかくやろうー成せば成る」	“Audere est FacereーTo dare is to do”
アジア地域会長主題	「とにかくやろうー成せば成る」	“Audere est FacereーTo dare is to do”
西日本区理事主題	「ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献」	”Contribute to the Community through Active Services with Love”
中部部長主題	「先ず一步 楽しもう、学ぼう、働こう、そしてつなげよう」	
金沢クラブ会長主題	「One for All, All for One with Y's Spirits」	

2012 4 月間強調 YMCAサービス・ASF

今月の聖句	4月強調月間								
<p>イエスは言われた。「わたしは復活であり、命である。わたしを信じる者は、死んでも生きる。生きていてわたしを信じる者はだれも、決して死ぬことはない。このことを信じるか。」</p> <p style="text-align: right;">ヨハネによる福音書 11章25節～26節</p>	<p>YMCA サービスはワイズ活動の根幹です。より一層のサポート体制の向上に努めましょう。</p> <p style="text-align: right;">藤川 洋 Yサ・ユース事業主任 (広島クラブ)</p>								
<p style="text-align: center;">4月例会 プログラム</p> <p>と き 2012年4月19日 (Thu.) 18:30～20:30</p> <p>ところ 金沢ニューグランドホテル</p> <p>会 費 ¥3,000(会員不要) ¥2,000 (メット)</p> <p style="text-align: right;">司会 数澤輝夫君</p> <p>開会・点鐘 幸正一誠会長</p> <p>主 題 司 会 者</p> <p>ワイズ・ソング 一 同</p> <p>今月の聖句 司 会 者</p> <p>ハッピー・バースデー 幸正一誠会長</p> <p>ゲスト紹介 伊藤仁信君</p> <p style="text-align: center;">~~~~~ 会 食 ~~~~~</p> <p>スピーチ 「不真面目の勧め」</p> <p style="text-align: right;">野 脇 格 氏</p> <p>委員会報告 各 委 員</p> <p>ニコニコタイム 伊藤仁信君</p> <p>YMCAの歌 一 同</p> <p>閉会・点鐘 幸正一誠会長</p>	<p style="text-align: center;">3月 クラブ活動状況</p> <p>第1例会 (3月15日 Thu.)</p> <p>メ ン：伊藤、影山、数澤、高口、幸正、澁谷、西尾、山内、山本 (9名)</p> <p>出席率：90%</p> <p>メネット：伊藤、数澤、高口、澁谷、山内、山本 (6名)</p> <p>コメント：西尾和晴君</p> <p>ゲ ス ト：村尾実氏</p> <p>第2例会 (3月1日 Thu.)</p> <p>メ ン：伊藤、数澤、幸正、澁谷、山内 (5名)</p> <p>メネット：数澤、山内 (2名)</p> <p>ニコニコタイム 13,500円</p> <p>クラブファンド 累計 110,000円</p> <p>BFポイント</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>切手</td> <td>0 kg</td> <td>累計</td> <td>0 kg</td> </tr> <tr> <td>現金</td> <td>0円</td> <td>累計</td> <td>15,000円</td> </tr> </table>	切手	0 kg	累計	0 kg	現金	0円	累計	15,000円
切手	0 kg	累計	0 kg						
現金	0円	累計	15,000円						
<p>会 長 幸正一誠 書 記 山内健司</p> <p>副会長 澁谷洋太郎 会 計 高口 昇</p> <p>直前会長 数澤輝夫 ネット会長 数澤淑子</p>	<p>第一例会：毎月第三木曜日 18:30～20:30 金沢ニューグランドホテル Tel (076)233-1311</p> <p>第二例会：毎月1日 18:30～20:00 金沢ニューグランドホテル 2F (トレド)</p>								

我が家にステージピアノが来た

山本 達也

私は今まではあまり音楽を親しむことの少ない生活を送ってきました。昨年からは教会では青年会担当長老を神様の思召しにより務めています。

青年会の若い人たちは、讃美歌はもちろんですが、ほかのジャンルの歌も好きで、これまた、よく知っていて歌います。みんな活動的で教会では音楽伝道委員会に属している人も多く、明るくて活発で一緒にいて楽しい人たちです。

昨年末、クリスマス礼拝後の祝賀会にて青年会でも歌を歌う企画ができ、有志が我が家に集まり歌の練習を数回行いました。練習場所の我が家にはピアノがなかったため、自分たちが電子ピアノ持参で集まり3～4時間練習して、その後に食事をしながらいろいろと会話を楽しみました。しかし、毎回毎回、練習のたびに電子ピアノを持参させるのも大変で、私たち夫婦で相談し自宅に電子ピアノを購入することにしました。半分は青年会に貢献するためですが、残りの半分は妻に対する私の後ろめたさでもありました。妻は結婚の時、実家からピアノを持参して来たのですが妻にとっては寂しいことに、今の家には置かず前の家に置い



てきてしまったのです。新し家に木調のブラウンのスタンドピアノが似合わないと思って、新しい家にはピアノは置かないようにと妻を説得して前の家に置いてきた哀しい罪がありました。妻に対し酷なことをしたかなと思っていますが、今でも私は、スタンドピアノは新しい家には合わないと思っています。今のステージピアノはモダンであり部屋の雰囲気にあっていると思いい、気に入って買ったわけです。つまり半分は妻へのご機嫌伺いでもあります。もちろん、青年会のみんなには、青年会の合唱が素晴らしいものになるようにと、君たちに十分に弾いてもらいたく購入を決めたと話しました。

2012・03・15に機材が搬入されました。3月18日に組み立てができ、後はお披露目を見るだけです。つい

に3月20日休日に青年会の有志4名が昼12時に自宅にやってきました。みんなは、カッコイイ、スゴイと



叫びながら、さっそく讃美歌を弾き始めました。礼拝奏楽でパイプオルガンを弾いている素敵なおとめ？が讃美歌を奏でながら、次は何を弾く、どれを歌うと叫んでいます。私は感激です。こんなに喜んで楽しくみんなで讃美歌を自宅で歌ってもらえるとは思っていませんでした。妻も喜んでみんなと次はこの曲を歌いたいか言っていて楽しくしている姿を見てまたまた感激です。私はどうしているかといえば、「山本長老、写真ばかりとらないでこの曲を歌いましょう」と催促されまた感激といった状態です。

練習だと言われ、男性3名でCaro mio ben (いとしい女よ)を歌わされてしまいました。

その後の祝会のテーブルでカレーライス、コーヒー、ケーキを頬張りながら、これからの青年会の活動とみんなでの歌の練習を早く持ちたいとワイワイ、ガヤガヤと忙しいことでした。これからの青年会の前途に神の祝福あれと叫んでいました。

【第2回中部評議会の報告】

2012年3月20日に開催された第2回中部評議会の報告をいたします。

司会 八木書記 議長 長谷川部長

出席者 評議員24名 陪席 7名

1号議案 今年度前半期中部事業報告(長谷川部長)

2号議案 次期中部部長および部会ホストクラブ確認

部長 荒川文門君(名古屋南山クラブ)

ホストクラブ 名古屋南山クラブ

3号議案 次次期部長および部会ホストクラブ承認

部長 平口 哲夫君(金沢犀川クラブ)

ホストクラブ 金沢犀川クラブ

を全員の賛成を以って承認。

4号議案 次期中部役員承認

荒川次期部長より提示され承認。

次期部長主題:「前へ!声を掛け合い!」

“Go forward! Call together”

5号議案 次期中部部会の日時および会場の承認

開催日時 2012年8月26日(日)

開催会場 名鉄ニューグランドホテル

6号議案 ワイズメンズクラブ西日本区事業組織の見直しに関する件(協議)

浅岡理事より「第1回役員会で事業主任制度見直しに関する提案があり、常任役員と組織検討・安全対策委員が協議してきて、概要がまとまったので各クラブの意見を聞きたいとの提言があった。浅岡理事の提言(2月5日付)に対しては、基本的には各クラブとも異論はなく、その他いろいろな考え方が述べられ、長谷川部長がとりまとめ各クラブメール委員に送付して確認をする。

金沢クラブ出席者 幸正、澁谷、伊藤の3メン

野脇 格氏 プロフィール

1935年4月5日 金沢市生まれ

1954年 県立董高卒後、金沢市民劇場立ち上げる

1969年 演劇とモダンバレエに専念

1956年 県立工業高勤務(助手)

1972年 金沢市役所に異動。

1994年 土木部理事で同市退職・金沢市民芸術ホール館長就任

1996年 金沢芸術村総合サブディレクター 就任

2002年 金沢蓄音機館副館長就任

2007年 退職。洋・邦楽プロデューサー・地区連合会長はじめ社会福祉協議会等の役員に就任、現在に至る

【3月例会報告】

3月の例会には、税理士の村尾実氏をスピーカーにお願いし、「相続について」と題して、主に相続税について、お話を伺った。要約すると、

相続税の増税については以前から国会で議論されてきたが、東日本大震災や与・野党の交代などで一時中断された形になった。しかし、基本的には増税については一致しているので、消費税増税の法案が通れば、3年後の27年1月から増税となるであろう。世界的に見ても日本では、国民の税負担は非常に低い。

地価公示価格指数と基礎控除の推移を見てみると、バブル期の地価の急騰による相続財産の価格上昇に対応して、負担調整を行うため、基礎控除が引き上げられ、1983年は 2,000万円+400万円×法定相続人数であったものが、1994年には

5,000万円+1,000万円×法定祖族人数

まで引き上げられたまま、現在まで据え置きになっている。しかし、地価は1983年より大きく下落が続いており、物価も30年前よりは安くなっている(ドルでいうとそうでもないが・・・)ので、地価動向の推移に対



応して基礎控除の水準を引き下げることにより、相続税の資産再分配機能を回復することが課題となっている。基礎控除の水準を、物価・地価が現在と同等であった時期(昭和50年代半ば)に適用されていた水準と同等となるよう再設定すべきとしている。すなわち現行の6割程度にしようと、改正案では

$3,000 \text{万円} + 600 \text{万円} \times \text{法定相続人数}$

となる。課税割合が2009年4.1%であったものが、改正案では6%台程度になる予定であるという。相続税率は相続額が多いほど上がるのは周知のこと。最高税率を55%に引き上げる等の見直しを行うようである。ちなみに中国(共産主義国で、固有財産はもたない)、シンガポール、カナダなど相続税のない国も多い。日本が一番多いのではないか。

続いて、①相続人がいなかったおばあちゃん ②子供がいない夫婦 ③相続人が認知症 ④使わなければお金はたまる ⑤アパート建設・相続税納税すべて借金・・・地主さんの破綻 ⑥相続税の節税はやっぱり生前贈与、注意あり、等大変興味あるエピソードが紹介された。

最後に、しっかり物を考えることのできる間に、遺言状を作成しておくことの必要性を実感したのである。

(文責 山内 健司)

~~~~~お知らせ~~~~~

☆京都パレスクラブ(40+1)周年記念例会

日時 4月22日(日) 16:00~20:00

場所 京都ホテルオークラ

例会費 10,000円

出席予定 伊藤、数澤、幸正

☆滋賀蒲生野・金沢合同例会

日時 5月3日19:00~5月4日12:00頃

場所 ホテル ニューオオミ

登録費 ¥3,000

出席予定 伊藤、数澤、山内、幸正、澁谷、山内、山内

☆西日本区大会

日 時 6月9日(土)～10日(日)
場 所 滋賀県立文化産業交流会館
長浜ロイヤルホテル
登録費 17,000円
出席予定 伊藤、数澤、メ、幸正、澁谷、
山内、メ、山本、メ

☆春の根の上まつり

日 時 4月30日(月・祝)
場 所 名古屋YMCA 根の上.高原キャンプ場
参加予定者 幸正 澁谷 伊藤各メン

Happy Birthday

幸正 一誠 君 4月15日

~~~~~ YMCAのお知らせ ~~~~~

☆早天祈祷会

日 時 2012年 5月1日(火) 6:00～7:00
場 所 金沢YMCA集会室

☆たけのこキャンプ

日 時 4月30日(月・祝) 10:00～15:00
場 所 北陸学院大学グラウンド前
会 費 ¥2,000
申し込み 幸正まで(4月23日まで)

5月の担当

ブリテン執筆: 伊藤 仁信 君
山内ミハル さん

卓 話 担 当: 数澤 輝夫 君
原稿は4月25日までに山内までお願いします。

~~~~~ ネット 報 ~~~~~

一年が過ぎ新たに神さまに祈る

昨年3月11日に起こった大震災、大津波そして原発事故による放射能汚染被害の凄まじさを私は生涯忘れる事が出来ないと思いました。

3月11日、実家の妹から「お姉さんテレビ点けて・・・」と悲痛な声でそれだけを言って電話を切っていました。何事だろうとテレビのスイッチを入れた途端、画面には黒い波が田畑を呑み込み、川はあたり一面に溢れ、土手を乗り越え、住宅街に押し寄せていく恐ろしい情景を映していました。一瞬、私は映画を観ている様な気がしましたが、直ぐに次々と流れてくる報道により地震による大津波が東北地方沿岸を襲っている事を知りました。被災地の岩手県山田町には50年前に人文地理を教えていただいた恩師が住んでいらっしゃる。当時先生は山田町沿岸はリアス式海岸で津波の被害が多い地形である事を度々話しておられました。津波が押し寄せて来る度に高台に逃れたと津波の恐怖を我々は度々聞かされてきました。この未曾有の大災害を知るにつけ、もしや・・・と不安な思いがしてしまいました。友人の姪の方が先生の安否確認をしてくださり、「見つかった！」と連絡を受けた時は思わず「神さまありがとうございます」と心から感謝しました。先生の生存が確認されてから2ヶ月後のある日「岩手の田村です。生きています。皆が心配していると思って・・・」と電話が入りました。先生の無事な声を聞いてからは、何か行動せずにはいられず、石川県在住のクラスメイトや県外の親しくしている友人に2日間かけて電話をし、お見舞いの賛同をよびか

けました。その事を聞きつけた他のクラスの友人も交え、30数名の同級生から誰一人断られることもなく、彼女たちからは声をかけてくれた感謝と労いの言葉をもらいました。彼女たちの中には被災地に親類、友人がいて連絡さえ取れない状態にある人もいました。私は彼女達と中・高時代を共に学び舎で過ごした日々を深く感謝しました。その後、先生から何度か電話を頂く中で徐々に電気、ガス、水道等が復旧されていく様子を聞き、また、北國新聞の地鳴り欄に投稿された文からも、あの日堤防の上から若い男性の「津波だ・・・」の声で間一髪助かった事、しかしその男性は今なお行方不明であるということも。

復興されていく日々、私達が当初示した関心も薄らいでいく事なりがちです。この一年間、毎日色々な報道関係から東日本大震災の事を目に耳にしない日はありません。少しずつ復興している所、まだ手つかずのままの所、原発の汚染の恐怖は更なる困難、不安、を増している状況の中、私達は今、この時にこそ、すべてを委ねて神さまに祈りたいと思います。(高口 紀子 記)

【4月例会予告】

下記のように食事会を行います。

日時 4月30日(月・振) 12:00～
場所 ベルナール(フランス料理)
(武蔵 近世史料館近く)

会費 3,500円程度

参加申し込みは、4月19日例会時に。